

～防災の日イベント～ 阪神・淡路大震災の記憶をたどって

阪神・淡路大震災から23年が経ち、阪神・淡路大震災を経験していない市民の方も多くなってきています。そのような中、2018年6月18日に発生した大阪北部地震、平成30年7月豪雨災害など、今年も多くの災害が発生しています。

阪神・淡路大震災時での災害報道や法的課題は何だったのか、そして、現在、どのように変わったのか、あるいは変わらなかったのか。これらのテーマを通して、災害復興について一緒に考えてみませんか。阪神・淡路大震災の経験や問題意識を語り継ぐ機会にしたいと思っておりますので、市民の皆様のご参加をお待ちしています。

日時

2018年（平成30年）9月1日（土）

午後1時15分～午後4時

（開場 午後0時30分）

場所

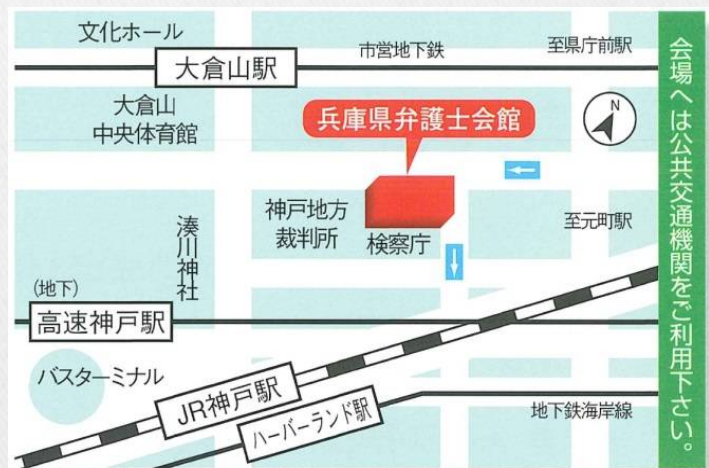
兵庫県弁護士会館4階講堂

（神戸市中央区橘通1-4-3）

その他

入場無料

予約不要



プログラム

1. 各パネリストからの報告
2. パネルディスカッション

パネリスト

渡辺 実 氏（防災・危機管理ジャーナリスト）

安富 信 氏（神戸学院大学現代社会学部社会防災学科教授）

永井幸寿 氏（兵庫県弁護士会災害復興等支援委員会委員）

主催：兵庫県弁護士会 共催：日本弁護士連合会（予定）

問い合わせ先：078-341-7061